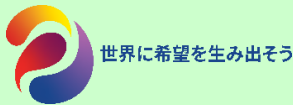


沼津西ロータリークラブ



2023～2024 年度・クラブテーマ

「未来につながる行動をとろう」

会長 重光 純 / 幹事 颯川ゆう子

第 1485 回 第 33 巻 23 号 2024 年 2 月 1 日

■■本日のプログラム■■

クラブフォーラム 奉仕プロジェクト委員会

■2月のプログラム■

1486 回 12:30 2 月 8 日(木)	アクアガーデン迎賓館 頼重秀一沼津市長来訪 クラブ管理運営委員会 理事会⑨
2 月 15 日(木)	祝日週休会
1487 回 12:30 2 月 22 日(木)	アクアガーデン迎賓館 外部卓話 「日韓関係、日本と朝鮮 半島との関係」 山静学友会会員 木宮正史様
1488 回 18:30 2 月 29 日(木)	アクアガーデン迎賓館 2 クラブ合同例会 クラブ管理運営委員会

例会場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37
アクアガーデン迎賓館沼津
TEL 055-920-5200

事務局 久松会計事務所内
TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600
E-mail: numawestrc@gmail.com

例会日 毎週木曜日 12:30 点鐘

公共イメージ向上委員長 / 編集者 山本哲之

会長挨拶

● 会長 重光 純 ●

本日から 2 月です。今年は 2 月が 29 日までである閏年（うるうどし）です。

地球が太陽の回りを一回りするには、約 365.2422 日かかります。現在世界中で使われているグレゴリオ暦では 1 年を 365 日としています。このため、約 0.2422 日のずれが毎年発生します。このずれが積み重なると、4 年後には約 $0.2422 \text{ 日} \times 4 = 0.9688 \text{ 日}$ のずれが発生するため、閏年に 1 日追加されることで、このずれを補正することにしています。

ただし、4 年ごとに 1 日追加されてしまうので、それでは本来のずれよりも約 0.0312 日分、多く加えていることとなります。この約 0.0312 日のずれをさらに補正するためにもう 1 つのルールが存在します。それは、西暦年号が 100 で割り切れて 400 で割り切れない年は閏年とならない、ということです。つまり、2000 年は 400 で割り切れることから閏年となりますが、次の 2100 年のときには閏年とならないこととなります。

これによって、グレゴリオ暦では閏年が 400 年に 97 回設定されることで、1 年の平均日数が 365.2425 日となります。これは太陽暦の 1 年の長さ（約 365.2422 日）と約 0.0003 日程度の差となり、厳密には同じではありませんが、このまま使用していても差し支えない程度の誤差ということで、現状この計算方法で閏年が設定されています。

この誤差によって数千年程度で 1 日のずれが生ずるはずですが、そのときにどのように修正をおこなうのかは、今のところはっきり決まっていないようです。

なお、「年齢計算ニ関スル法律」では、「年齢ハ出生ノ日ヨリ之ヲ起算ス」と定められており、これは誕生日前日の 24 時に 1 つ歳をとるということを意味します。ですので、2 月 29 日生まれの人は毎年 2 月 28 日の 24 時になった時点で 1 つ歳をとることになりますので、閏年以外の年には 1 つ歳を取った状態である 3 月 1 日に誕生日を祝うこととなります。

出席報告 会員数 22 名

例会	会員数	出席数	出席率
1485 回	21 名	20 名	95.24%

◎欠席者(1名)

羽切勝利

◎スマイル報告

- 1.鈴木和憲：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。
- 2.重光 純、3.穎川ゆう子：山田委員長、本日は宜しくお願ひ致します。
- 4.本村文一、5.小野洋子：所用にて、早退します。

幹事報告

1.他クラブの例会変更

- ①沼津柿田川 RC 2/21(水)→2/29(木)沼津西 RC 合同夜間例会へ変更 MU：無し
- 2/28(水) 第4週の為、例会無し MU：無し
- ②富士宮西 RC 2/16(金) 祝日週休会 MU：無し

2.報告、連絡事項

- ①次週は、例会後理事会がありますので、各理事は提案資料の提出をお願いいたします。
- ②令和6年能登半島地震 義援金にご協力をありがとうございました。
- ③3月30日のIMは御殿場時之栖にて12時45分受付開始、13時45分から全体会議、15時30分より懇親会です。宜しくお願ひ致します。

クラブフォーラム

「沼津西 RC 奉仕活動の現状について」



奉仕プロジェクト委員会
山田和典委員長

本日は奉仕プロジェクト委員会より、「当クラブの奉仕活動について考えてみる」といった形で発表したいと思ひます。

まず始めに現状認識として、当クラブの奉仕活動を5大奉仕に分けて見てみます。社会奉仕として「千本浜清掃」「ポリオ募金」、国際奉仕として「ベトナム枯葉剤被害者支援」、青少年奉仕として「少年サッカー大会」「加藤学園インターアクトクラブ支援」となっております。近隣クラブの活動としては、社会奉仕として、沼津北クラブの植林活動、柿田川クラブの柿田川清掃などがあり、また、青少年奉仕ともとれる沼津北のフェンシング大会もあります。

次に今後新たな奉仕活動を考える上で何かテーマのヒントになるものですが、一つは環境キーワードである「カーボンニュートラル」です。日本政府の掲げる目標である、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロという、脱炭素をテーマとした奉仕活動はいかがでしょうか。そして、もう一つは、今や全世界共通のキーワードであるSDGsです、持続可能な17個の開発目標、この中にあるテーマをヒントにしたらとも思ひます。当然、当クラブの奉仕活動も17個のうちのどれかには当てはまることとなります。そこで、今年度の奉仕プロジェクト委員会として、「食糧支援」やそれにつながる行動を新たな奉仕活動として検討してはどうかと提案したいと思ひます。

まずは実態調査として、去る1月24日に下田副委員長と私で、沼津市社会福祉協議会に訪問して来ました。地域福祉系の米山世紀主事と面談し、ヒヤリングを行いました。食糧支援関係の現状としては、まず、食料品現品の寄付では協議会内に回収ボックスが常設されており、集まった物は必要な団体へと届けられるようです。まとまった活動としては「フードバンクふじのくに」として活動しているとのことでした。次に寄付金ですが、これについては、協議会としては必要とする団体を紹介し橋渡しをしているとのことでした。従って、寄付金については紹介された団体へ直接寄付することとなります。当クラブで行う案としては、先ずは然るべき団体に金銭の寄付をして、そことつながりを持った上で何か人的支援等、ニーズがあれば段階的に検討していくのが望ましいかと考えます。次年度以降の参考にしていただくと幸いです。